|  |  |
| --- | --- |
| **３部２章** | **アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出** |

部分サンプル　※本資料はサンプルのため、内容が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **１** | 明の国際秩序と東・東南アジア | 【教科書p.135～143】 |

■　明の成立とユーラシア東方　■

・明の建国 … 都：南京

「14世紀の危機」… 災害・疫病の続発 ⇒ 白蓮教徒が起こした［ １ ］が拡大

⇒ 1368年，指導者の一人［ ２ ］（太祖，［ ３ ］）が建国 … 一世一元の制開始

⇒ 大元ウルスの朝廷 … モンゴル高原に退く（［ ４ ］）

・明の支配 … 農村を立て直して穀物や労働力を直接徴発するしくみを築く

農村支配：土地と農民を［ ５ ］（土地台帳），［ ６ ］（戸籍・租税台帳）に登録  
［ ７ ］をしいて徴税や治安業務にあたらせる

軍制：［ ８ ］制で防衛・運輸などを担わせる  
［８］に属する人々 …［ ９ ］，それ以外の大半の人々 …［ 10 ］

中央 …［ 11 ］と宰相職を廃止 六部などの中央官庁や地方官を皇帝に直属させる

官僚登用 …［ 12 ］を公式解釈に定める 民衆 … 儒教に基づく教化を図る

・［ 13 ］（位1402～24）… 燕王が［ 14 ］の役を起こして即位 ⇒［ 15 ］に遷都

対外政策

北方：モンゴル遠征を繰り返す  
黒竜江（アムール川）方面に進出 ⇒［ 16 ］を従える

南方：ベトナムへ出兵  
ムスリムの宦官［ 17 ］の船団を東南アジア・インド洋に派遣  
⇒ アラビア半島・東アフリカへも ⇒ 多くの南海諸国が朝貢

・モンゴル（［４］）：西方の［ 18 ］部が実権を握る ⇒ 明に圧力をかける  
15世紀の指導者エセン … 明の皇帝を捕らえる（［ 19 ］の変）

⇒ 明 … 長城を堅固に修築し，事実上の境界線とする

■　明の海禁＝朝貢体制とアジア海域　■

・東シナ海 …「14世紀の危機」⇒ 日本で鎌倉幕府が倒れ，南北朝の動乱が広がる  
日本の海商や武士団が海上や沿岸で襲撃・略奪行為 ⇒［ 20 ］（前期［20］）  
⇒ 高麗・元の沿岸住民や武装勢力も合流

・明の対外政策

［20］を抑え込むため，民間の海上貿易を禁止 ＝［ 21 ］

対外関係 … 国家間の［ 22 ］関係に限定する対外関係管理体制をしく  
（［21］＝朝貢体制）  
⇒ 日本 …［ 23 ］が朝貢貿易（［ 24 ］貿易）に踏み切る

・朝鮮半島：1392年，［ 25 ］（太祖）が［ 26 ］を建国 都：［ 27 ］（現ソウル）

明の冊封を受ける 明にならった国家建設 …［12］の導入，科挙の整備など

［ 28 ］（15世紀前半）… 表音文字の［ 29 ］（ハングル）制定

■　海の王国と陸の王国　■

・海の王国

［ 30 ］（15世紀～1879）… 明の冊封を受け，ほぼ無制限の朝貢貿易を許される

⇒ 東南アジア・日本などの商品を集めて明に朝貢，中国商品を各地に運ぶ

⇒ 東南アジアと朝鮮・日本などを結ぶ中継貿易を行う

［ 31 ］（14世紀末～1511）… 東南アジアで繁栄

［17］の船団の寄港地を提供，国王が明に赴き優遇を勝ちとる

⇒ インド洋・東南アジア海域の交易ネットワークと明や琉球を結びつける



空欄に適語を記入しよう。

１

２

３

４

５

６

７

８

９

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31



部分サンプル

空欄に適語を記入しよう。

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

40・41，42・43，45・46，49・50  
は順不同

⇒ 明の対外政策消極化 … 西方への［ 32 ］輸出を伸ばし，［ 33 ］をもたらす  
インド商人を通じてイスラームを受容 ⇒ 諸島部各地にイスラームが広がる

・陸の王国

タイ人国家の［ 34 ］（シャム）⇒ 明への朝貢貿易，琉球との貿易を行う

⇒ ラオス・カンボジアを含む広い範囲に［ 35 ］仏教が拡大

ベトナム（大越）⇒［ 36 ］朝が国家体制を強化 ⇒ チャンパーに大打撃を与える

■　明後期の産業・商業の発展　■

・15世紀末ごろから … 世界の気候が温暖化，「大航海時代」の国際的商業の活発化

農業：長江下流域の［ 37 ］の水田地帯は開発し尽くされる

⇒ 水田に向かない場所 … 綿花や桑などの商品作物の栽培が広がる

⇒ 生糸・絹織物・綿織物などの［ 38 ］が発達

⇒ 稲作 … 長江中流域の湖広（湖北・湖南）や江西へ（「［ 39 ］」といわれる）

商業：内陸部出身の［ 40 ］商人，［ 41 ］商人 … 塩の専売や軍需で富を築く

沿海部の福建の人々は［21］を破り海上交易に乗り出す

商工業者 … 都市に同郷・同業者の活動拠点＝［ 42 ］・［ 43 ］をつくる

・明の貿易：［ 44 ］と生糸 … 世界商品として日本・西アジア・ヨーロッパに輸出

アジア海域 … 東南アジア産香辛料（ヨーロッパ向け），中国産生糸（日本向け）の  
輸出が盛ん ⇒ 16世紀，［ 45 ］銀・［ 46 ］銀が大量に流入  
⇒ 明で銀の使用が一般化 … 納税でも銀で納める［ 47 ］が広がる

■　明後期の社会と文化　■　➡　文化まとめ表 p.159（中国文化②）

・流動的な社会：人々 … 科挙受験・商業・土地経営・出稼ぎ・小作などを選択

［ 48 ］… 科挙によって官僚の資格を得た名士（特権は一代限り）

農業 … 小作をしながら副業として手工業を営む小農民の家族経営が中心

・学術・思想・文化

木版印刷による出版や大衆芸能 … 小説が人気を博す

「四大奇書」…『西遊記』『金瓶梅』『［ 49 ］』『［ 50 ］』

民間 …［ 51 ］の飲用や陶磁器の使用，衣服は保温性に優れる［ 52 ］に変わる

思想：形式化した朱子学への批判 ⇒ 王守仁（［ 53 ］）が［ 54 ］を説く

科学技術：実用書 …『本草綱目』『天工開物』『農政全書』など  
［ 55 ］会などのキリスト教宣教師が来航

⇒ ヨーロッパの天文学・地理学・数学・砲術などをもたらす

⇒［ 56 ］などが，［55］会士の協力で暦法書『［ 57 ］』をつくる

■　16～17世紀の貿易をめぐる動きと政治・社会変動　■

・16世紀の動き

北方：モンゴルの［ 58 ］が侵入を繰り返す

南方：海禁を破って海上の私貿易や海賊活動が再び激化（［ 59 ］）

⇒ 明 … 南方：海禁を緩めて，日本以外との民間貿易（［ 60 ］）を認める  
北方：［58］と講和して国境貿易に応じる

・アジアの新興勢力の台頭

北方：女真人の統合が進む 南方：東シナ海 … 海上勢力が再編される

日本：［ 61 ］・［ 62 ］… 鉄砲導入，貿易港や銀山を掌握 ⇒ 全国制覇を進める

［62］… 統一を果たす ⇒ 倭寇を禁止，海外進出を図って［ 63 ］を行う  
⇒ 明との関係が決定的に悪化し，公式貿易が困難になる

徳川家康 …［ 64 ］を台湾・マカオ・東南アジアへ渡航させ，現地の中国人と交易 ⇒ ポルトガル人，オランダ人が日本貿易に参入

・明 …［ 65 ］が立て直しに努め，検地と［47］の全国的施行を進める

地方の郷紳層が反発（江南 … 政府批判の中心に）

部分サンプル

地球規模の寒冷化で災害多発，農村疲弊 ⇒［ 66 ］の乱 ⇒ 明滅亡（1644）

■　清の形成とチベット仏教世界　■

・女真人 … 明の富裕層向けの特産品（［ 67 ］・薬用人参）の利益をめぐり抗争激化

［ 68 ］（太祖）…［ 69 ］を基盤とした強固な支配体制 ⇒［ 70 ］を建国（1616）

［ 71 ］（太宗）… 内モンゴルの北元のハーン家を従える  
民族名を［ 72 ］に改める 国号を大清（清）と定める（1636）

明滅亡（1644）⇒ 清は長城を超えて［ 73 ］に遷都，［66］や明の残存勢力を平定

・［ 74 ］… 中央ユーラシア東方で急速に拡大 ⇒ モンゴル人や満洲人に広がる

⇒ 指導者［ 75 ］の宗教的権威 … パミール高原以東の内陸地域を覆う

⇒ モンゴル・オイラト諸部族・清は［75］の提携相手になろうとして競い合う



空欄に適語を記入しよう。

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

 **15世紀初めの日本と明朝の交流**

(1)　次の史料を読んで，あとの問いに答えよう。

|  |
| --- |
| 史料　応永8（和暦；西暦1401）年の5月13日付の足利義満の国書  『善隣国宝記』より要約 |

①　史料のなかで，道義こと足利義満の肩書が変化していることがわかる部分に　　をつけ，その意味を考察してみよう。

②　史料のなかで，建文帝により足利義満の朝貢が認められたことがわかる部分に　　をつけよう。

③　建文帝に対する足利義満の遣使は，この１回だけであった。その理由を，年号に着目して説明しよう。